

盛岡市長 内 舘 茂 様

要 望 書

盛岡市営野球場の存続、又は、盛岡市内に軟式野球競技場の
新設を請願いたします

[請願者代表]

盛岡市桜台三丁目3番5号

盛岡市野球協会 会長 小 原 正 弘

外 名

[請願の趣旨]

盛岡市営野球場の存続、又は、盛岡市内に軟式野球競技場の新設を請願いたします。

[請願の理由]

「いわて盛岡ボールパーク(きたぎんボールパーク)」が令和5年4月に開場されました。これに伴い既存の岩手県営野球場と盛岡市営野球場が廃止と聞いております。新球場は県営野球場の代替施設として、プロ野球、高校野球の硬式野球に使われると承知しています。すでに県営野球場はまったく使用できなくなっています。これにより現在の盛岡市内の野球場がひとつ減少しました。特に現市営野球場が廃止となれば、現市営野球場において実施されている盛岡市の軟式野球チームの岩手県予選大会会場が失われることとなります。

盛岡市野球協会の加盟チームは一般68チーム、少年21チーム、学童21チーム(令和5年次)になっており、年間12大会でおよそ120試合での岩手県予選大会代表チーム選抜を行っております。盛岡市営野球場がなくなりますと盛岡市代表を決める大会が開催不能となり、年に2から3回要請される岩手県大会の開催も不可能となり、数年に巡ってくる全国大会レベルの招致もできません。

軟式野球は日本の標準的な競技であり、ここから硬式野球に移行するのが普通であります。すなわち新球場で活躍するであろう選手を輩出する軟式野球の活動場所が失われることとなります。

岩手県と盛岡市では、それぞれが保有する野球利用が可能な既存施設について、利用者の利便性を確保するよう努めて行くとされております。また、将来的な野球場の適正配置については、新野球場完成後において利用状況を検証し、野球人口の推移を見極めながら、改めて検討を行うと理解します。しかし、現在すでに1施設が廃止され活動が大きく制限されており、現時点での野球競技大会運営には、間にあいません。

球場減という事実と恒常的な野球人気と野球競技の競技者人口をご勘案の上、早急な取り組みをお願いいたします。

なお、現市営球場の管理作業(外野の草刈、内野の平準化、外野席の除草等)は、これから行うことはやぶさかではないことを申し添えます。

●要望事項

盛岡市営野球場の継続使用

※形は問いませんので野球ができる場として使用を希望します。

令和6年 月 日	盛岡市桜台三丁目3番5号 盛岡市野球協会 会長 小原正弘 外 名
請願者代表	

軟式野球競技場設置に関する請願（署名簿）

No.	氏 名	押印	住 所
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

請願者氏名は署名（自筆）又は、記名押印して下さい。